

まちの可能性を探るトークイベント

空き家に

暮らす、

まちでどう

まちの資源を
活かして
「つくる暮らし」を
考える

实例から知る

まちづくりと

空き家空き地の利活用

2020.12.5.sat

13:30 - 17:30

こづべまちづくり会館

る。



空き家に暮らす、まちでつくる。

空き家空き地の活用
まちづくりと
実例から知る

まちづくりの実例を交えながら、
増加する空き家空き地＝「のびしろ」と捉えて
まちの可能性を探るトークイベントを開催します。

空き家空き地は活用の仕方次第で
まちの魅力を高めることができる
「まちの資源」として多くの可能性を持っています。

まちの資源を活かしながら
暮らしを「つくる」ことについて考えてみませんか？

2020.12.5.sat 13:30-17:30

こうべまちづくり会館 2階ホール(神戸市中央区元町通4-2-14)

参加 | 無料(定員30名、事前申込制先着順)

申込先 | TEL:078-647-9904(すまいるネット:受付時間10:00~17:00 水・日・祝休)

すまいるネットHP イベント申込ページ >>>

すまいるネット イベント | 検索

申込締切:11月27日(金)17:00まで

※ご来場の際は新型コロナウイルス感染症対策のためマスクの着用など必要な対策をお願いします。平熱でない場合はご来場をお控えください。※イベント会場では検温を実施し発熱が確認された方は入場をお断りします。感染が確認された際は公的機関に情報を提供する場合があります。※状況によって内容が変更または中止する場合があります。

1 レポート
まちづくり
13:30~ レポート

塩屋／坂のある街で住み続ける
新開地／新しい下町文化拠点を創造する
まちラボ／活動する人を応援する、まち活拠点

2 事例紹介
空き家
14:45~ 空き地の
活用事例紹介

塩屋／可能性を秘めた、大きくて不自由な空間
新開地／日々の暮らしに嬉しい場所
北区／COCCA field
長野市門前町／空き家で関係性やプロセスをデザインする

3 トークセッション
垣根をこえた
16:20~ 居場所づくりへ

パネリスト全員と会場の方々全体で“これからのまち”の在り方を考えるトークセッション。みんなが楽しんで関わることのできる居場所づくりを目指し、様々な視点で垣根(行政、企業、個人)を越えてアイデアを出し合います。

レポート 塩屋

新田有沙

株式会社
都市調査計画事務所



まちづくりアドバイザーとして地域団体の活動に参加し、まちづくり計画の検討支援や合意形成支援等を行う。その他、草刈りから芋ほり、まちあるきから山あるき川あるきと、日々神戸市内を東へ西へ奔走中。

レポート 新開地

山本英夫

まちづくり&
コーディネート研究所



新開地のまちづくりに携わって今年で32年目。大阪では戎橋筋商店街(振)事務局長としてなんば駅前や御堂筋の空間再編にも関わる。地元の阿倍野ではパイロカール運動を展開。大阪府立大学観光産業戦略研究所客員研究員。

レポート まちラボ

浅見雅之

特定非営利活動法人
神戸まちづくり研究所
事務局長



ドアノブのような小さなモノから、地域計画のような大きなモノまで様々な分野を対象に、住民参加によるデザイン・設計・運営等をコーディネートしている。宮城県気仙沼や熊本県では、災害復興まちづくりの支援活動を行っており、日本各地の住民参加によるまちづくりのアドバイザーとして活躍中。

事例紹介 塩屋

信森徹

塩屋まちづくり推進会
事務局長



塩屋在住。推進会では、時間・空間・人のふるまいの総合的な結果である「景観」を軸として、塩屋ならではの人間スケールのまちづくりに取り組んでいる。空地の活用にあたっては、自然との共生・コミュニティ育成・地域安全・コミバスなどの課題と連動した多面的な地域スペースの創出を目指している。

事例紹介 新開地

藤坂昌弘

新開地まちづくりNPO
事務局長



学生のころからまちづくり活動に積極的に参加。新開地では震災後の再開発を経てまちの魅力をより高めるために、音楽祭等のコミュニティイベントを実施している。建物の空きスペースを改修し、まちづくりの主旨に賛同する事業者がチャレンジ的に活動できる場としても提供している。

事例紹介 北区

今津修平

COCCA
株式会社MuFF



異なる役割を持つ様々な専門家によるチームをプロジェクト毎に編成し、私たちが日々直面している。社会の課題を解決し、持続的にプロジェクトに取り組む。現在、北区長尾町にある空き家を地域交流のためのスペースとするため改修中。

事例紹介 長野市
門前町

倉石智典

株式会社 マイルーム
代表取締役



長野市門前町にて、「門前暮らしのすすめ」と題して、毎月「空き家見学会」を開催。県内外から参加者が訪れ、まちあるきしながら「空き家」を案内。まちなかの空き家を「リノベーション」して、新しい利用者とマッチングし、まちに賑わいをつくっている。

ファンリデーター

矢吹剣一

神戸芸術工科大学
環境デザイン学科 助教



専門は都市計画、都市デザイン、まちづくり。(一社)アーバンデザインセンター坂井(福井県坂井市)の副センター長として、公・民・学連携のもと、空き家・空き地の再生による歴史的市街地の活性化などに取り組んでいる。